

(5) 課題に対する参考事例

④幅広い内容の教室・プログラム



○自然とのふれあいができるプログラム (プレパークこうりがおか(大阪府))

出典: 枚方市HP“桑ヶ谷の森で遊ぼう(プレパークこうりがおか
毎月第4土曜日)”



○防災教育(奈良市子どもセンター(奈良県))

出典: 奈良市子どもセンターにじいろfacebook



○道具を使わない遊びのプログラム (東部フレンド公園(東京都))

出典: 毎日新聞HP“「だるまさんが転んだ」が好評 昔遊びを推す
東京・江戸川区の狙い”



○サッカー教室(安満遺跡公園(大阪府))

出典: 安満遺跡公園HP“ガンバ大阪キッズ
サッカー教室開講!”

(5) 課題に対する参考事例

⑤自然の活用



○キャンプ場(生駒山麓公園(奈良県))

出典: 生駒山麓公園HP“野外活動センター”



○味覚狩り(農業公園信貴山のどか村(奈良県))

出典: 奈良の総合情報サイト「Narakko!」
“【三郷町】信貴山のどか村”



○樹林地や農地等のみどりを活かした公園(こどもの森(東京都))

出典: 練馬区HP“練馬区立こどもの森”

(6) 整備コンセプト

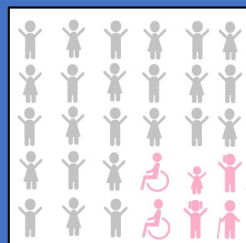
県全体の課題：障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊べる場所（公園）が少ない

整備コンセプト（案）

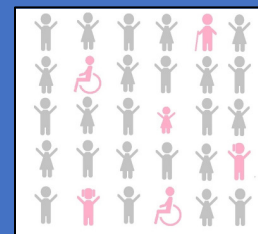
○障害のある人もない人もすべての人が一緒に利用できる公園
各年代のこども、親の交流を促す公園

参考イメージ

障害のある人もない人も遊ぶことができる遊具の設置



障害のある人もない人も同じように遊ぶことができる空間の提供



○こどもの成長・発達を促し、子育て支援に資する公園
多様なニーズに対応出来るように、運営重視の公園

(7) 整備方針

整備方針(案)

1. ハード整備(インクルーシブ機能検討区域)

- ① 雨天時・夏場でも安全に利用できるスペース
- ② 整備エリアにアクセスするための駐車場・園路整備



↑雨天時・夏場でも安全に利用できるスペースの設置例
遊具や運動器具を発達段階に応じて組み替えている事例→

2. 運営管理

- ① 時代の変化や幅広いニーズに対応するため、遊具や運動器具を組み替えて、様々な遊び場を提供する。
- ② 遊びが豊かになるように、プレーリーダー※を配置する等、公園で提供するサービスを充実させる。
※プレーリーダー：遊び場での遊びを補助し、そのための環境を作る人

3. その他

- ① 雨水調整池機能範囲について、調整池の機能を維持し、木や池や芝生広場をそのまま活用する。(活用例：キャンプ、グランピング施設)
- ② 整備する施設はバリアフリー対応にすることはもちろんのこと、医療機器利用者等が必要とする電気を取れる場所等、障害のある人が必要とする設備を整備する。また、洪水等の緊急時に、すべての人が安全に行動できるように、わかりやすい案内表示の整備や情報システムを整備する。
- ③ 整備、運営、維持管理、それぞれにおいて、費用対効果を高める計画とする。



○まほろば健康パーク整備エリア

■今後の予定に関して前回頂いた意見に対する対応

※7月に、導入する機能や提供サービスについて子どもから意見を聴取

※第2回検討委員会後に、地域プラットフォームを活用し、地域企業等にサウンディングを実施。

検討委員会	討議のねらい	主な審議・共有内容
(第1回) インクルーシブ機能のあり方 (令和6年2月6日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ インクルーシブ機能のあり方、また、確保する上での課題や留意点等 	<ul style="list-style-type: none"> ・まほろば健康パークの現状、整備に対するニーズ ・まほろば健康パークの現状、先進事例等を踏まえた、まほろば健康パークにおけるインクルーシブのあり方、確保する際の課題や留意点
(第2回) 整備方針 (令和6年5月28日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備コンセプト、整備方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ機能のあり方、インクルーシブ機能を確保する上での課題や留意点等を踏まえた整備の方向性 ・地元自治体等からのまほろば健康パークの整備に対する意見聴取
(第3回) 導入する機能、提供サービス (令和6年8月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ まほろば健康パークで導入すべき機能、提供すべきサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存公園エリアの利用者や障害者団体等の整備に対するニーズ調査、7月に子どもから意見を聴取、近隣の類似施設の機能等を踏まえたまほろば健康パークにおいて導入すべき機能 ・導入機能の効果発揮のために提供すべきサービス
(第4回) ゾーニング、導線 (令和6年9月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備範囲におけるゾーニングと導線 	<ul style="list-style-type: none"> ・まほろば健康パークへのアクセス、既存公園エリアのゾーニング、導入機能の需要量等を踏まえた整備範囲におけるゾーニングと導線
(第5回) 施設配置、事業手法・官民役割分担 (令和6年11月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 導入施設の配置、事業手法・官民役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングと導線を踏まえた計画平面図・イメージパース(案) ・サウンディングを実施した結果等を踏まえて、整備・管理・運営にあたっての、効果的かつ効率的な事業手法・官民役割分担

第2回